

令和7年10月から塩田庁舎、嬉野庁舎の両庁舎において、新しい窓口の導入に向けた実証実験を行います。
市民の皆様には、ご来庁された際にご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

嬉野市の

窓口が 新しくなります

嬉野市は総務省が募集していた

『自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト』に応募し、採択を受けました。令和8年度の新庁舎移転を契機とした、

より良い窓口サービスを実現し、誰もが利用しやすく、

わかりやすい窓口のかたちを目指して改革を推進していきます。

今回は窓口改革に関する6つの主な取り組み内容と実現に向けたスケジュールについてご紹介します。

嬉野庁舎

塩田庁舎

自宅

個室ブースで
手続きの相談

呼出状況を
スマホで確認

嬉野庁舎の職員と
リモート相談

マイナンバーカードによる
本人確認

ヒアリングと
電子サインで
申請書作成

窓口予約で
スムーズに受付

オープンスペースで
相談や手続き

コンシェルジュによる
案内やサポート

窓口改革に向けた
実証実験の詳細
についてはこちら



自宅から
スマホで手続き

窓口改革の6つの主な取り組み

1 オンライン申請の拡充



自宅やスマートフォンから、24時間いつでも手続きができるよう、オンライン申請の対象を順次拡充していきます。

2 書かないワンストップ窓口



マイナンバーカードを活用し、申請書の電子化を行うことで、手書き不要で複数の手続きを一か所で完結できるワンストップ窓口を実現します。

3 待ち時間の有効活用



番号発券機や呼び出し表示モニターの導入により、待ち時間の見える化とともに、来庁予約も可能な環境を整えます。

4 専用ブースでの申請



個別のプライバシーに配慮した専用ブースを設け、落ち着いて手続きが行える環境を提供します。

5 手厚い窓口サポート



新庁舎移転後の塩田庁舎においても、職員による手厚い窓口サポートを実現します。遠隔会議システムを活用した、新庁舎とのリモート相談窓口をはじめ、移転前の従来の窓口サービスはもちろんのこと、より良いサービスの実現を目指します。

6 リモート相談窓口



今後のスケジュール

2025年10月

11月

12月

2026年1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

新しい窓口の実証実験

新しい窓口の本導入

新庁舎共用開始